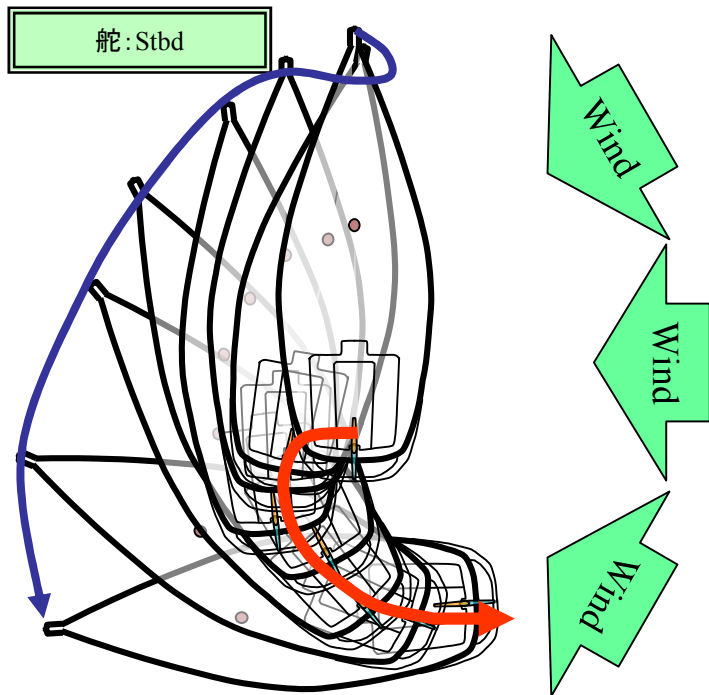


船尾をStbdに振る意図で後進ギア使用時の風の影響

プロップウォークと風の相互作用は極めて微妙な組み合わせになる。

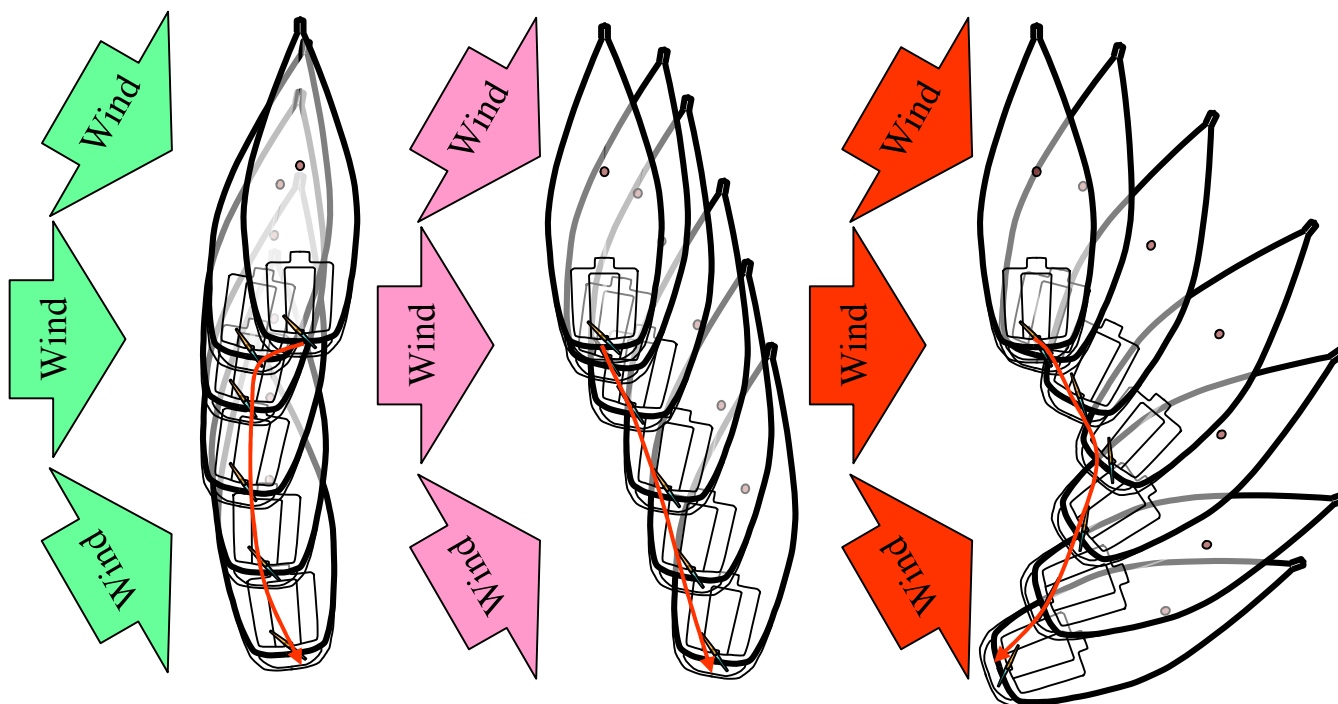


風を右舷側に受けながら、舵をStbdにきり、後進の機械を使用すると、

- ①プロップウォークの作用が働き、その場で船尾が左へ偏移する。
- ②後進の速力が発生すると、舵が効きはじめて、プロップウォークによる左偏移の傾向が抑制される。
- ③後進の速力がつきはじめると、後進時の転心（コックピット中央付近）を中心に船首が左舷（風下）側へ急激に偏移し始める。
- ④船首側が風下へ偏移する傾向が加速すると同時に船尾が右舷（風上）側へ切り上がっていく。

風を左舷側に受けているとき、船尾をStbd側に振ることを意図して、舵をStbdにきり、後進の機械を使用しても、風が船首を抑え付ける作用を發揮してしまい、コントロール不能に陥る場合がある。どのような影響の相互作用で船がどのように動くかを見極めるのは極めて高度な技能である。風が強ければ強いほど、船は思うように動かない。

舵をきった方向へ必ず向いてくれると思っはいけない。

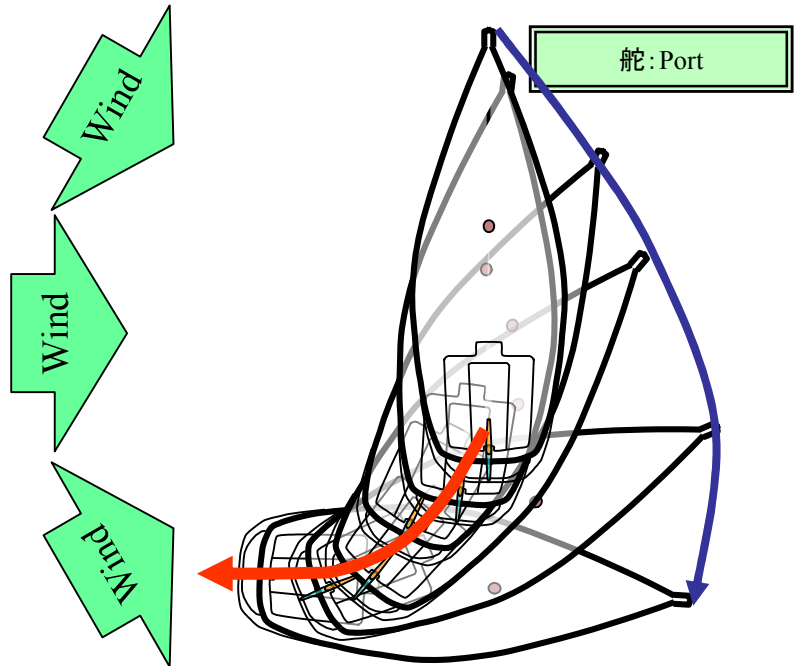


強風下では舵で制御できなくなる。

船尾をPortに振る意図で後進ギア使用時の風の影響

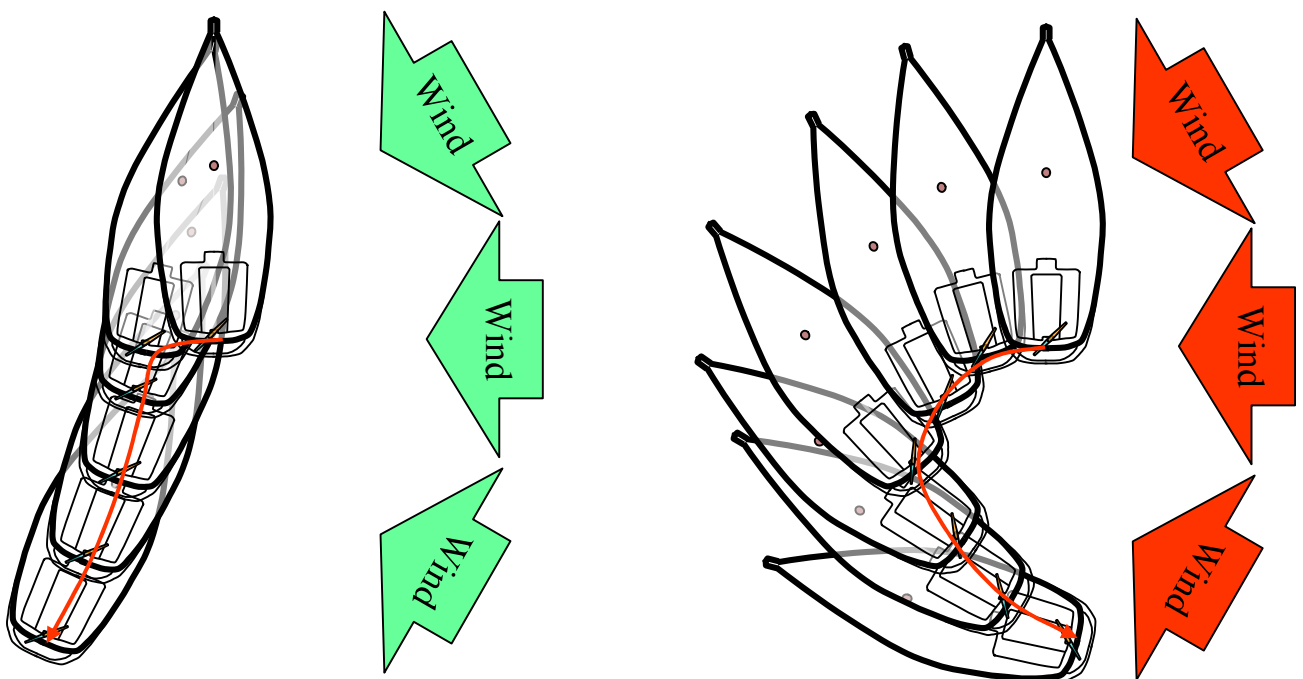
プロップウォークと風の相互作用は極めて微妙な組み合わせになる。
 風を左舷側に受けながら、舵をPortにきり、後進の機械を使用すると、

- ①プロップウォークの作用が働き、その場で船尾が左へ偏移する。
- ②後進の速力が発生すると、舵が効きはじめて、さらに船尾が左舷(風上)側へ偏移する傾向が強まる。
- ③後進の速力がつきはじめると、後進時の転心(コックピット中央付近)を中心に船首が右舷(風下)側へ急激に偏移し始める。
- ④船首側が風下へ偏移する傾向が加速すると同時に船尾が左舷(風上)側へ切り上がっていく。



風を右舷側に受けているとき、船尾をPort側に向けることを意図して、舵をPortにきり、後進の機械を使用しても、風が船首を抑え付ける作用を発揮してしまい、コントロール不能に陥る場合がある。どのような影響の相互作用で船がどのように動くかを見極めるのは極めて高度な技能である。風が強ければ強いほど、船は思うように動かない。

舵をきった方向へ必ず向いてくれると思ってはいけない。



強風下では舵で制御できなくなる。